

# 平成30年度 胆振の研究活動

研修部長 苫小牧市立清水小学校  
校長 松井操人

## 1. はじめに

胆振管内校長会第7期の研究は3年目を迎えた。これまで2年間の研究成果が明確になってきており、今年は更に研究を煮詰めていくために、継続研究である「校長会としての取組」「小中連携の取組」の二つの視点は残しつつ、視点をどちらか一方に更に絞りこむことで、より研究の焦点化を図っていく。



## 2. 研究計画

### (1) 活動方針

教育改革に向けた諸課題の解決と創意工夫ある学校経営を目指す校長の在り方を追求するために、胆振管内校長会として組織を生かした研修の活性化を図り、絶えず校長としての職能の向上に努める。

### (2) 基本主題

「新たな時代を切り拓き 共に支え合い 生き抜く力の育成を目指す学校教育の推進」  
～全ての児童生徒に確かな学びの力を身に付けさせるチーム胆振としての学校改善～

### (3) 本年度の研究推進

- ① 第7期研究計画（5か年継続研究）の3年次として、昨年度の研究の成果と課題を踏まえながら、研究課題の更なる解明に努める。
- ② 第19回胆振管内校長会教育研究大会を会員各位の理解と協力を得ながら開催し、研究を深めるとともに、その成果を各校の学校経営に反映させていく。
  - ・前年度の研究大会の反省を踏まえ、内容や日程を工夫・改善し、より充実した研究大会となるよう企画・運営していく。
  - ・全体会では、全連小研究大会における提言の発表や協議の時間を設定し、発表者への管内校長会としてのサポート体制を整える。
  - ・分科会・分散会では、提言に係る協議時間を確保するとともに、全体の時間を拡大し、「校長の責務」について協議を深める。
  - ・会員個々の持参資料については継続し、記述方法、内容等の工夫・改善を進める。
  - ・研修部報「いぶり」を発行し、教育研究大会の円滑な推進と内容の充実に努める。
  - ・大会要項や研究集録を作成し、研究の充実と継承を図る。
- ③ 全連小や道小、全日中や道中、各市町校長会との連携を密にし、一貫性のある教育研究の推進を図るとともに、研究成果の還流・交流に努める。
- ④ 管内研修部長研修会を通して研究の推進と交流を図るとともに、管内教育の実態把握と情報交流に努める。

### 3. 研究活動

#### 【第19回胆振管内校長会教育研究大会】

<期 日> 平成30年8月8日(水)

<会 場> 登別市立鷺別小学校

<開催内容>

##### ○全体会

- ・全国連合小学校長会研究協議会北海道大会 第10分科会「危機対応」提言発表
- ・提言者 厚真町立厚真中央小学校 池田 健人

##### ○分科会

[第1分科会 教育課程 ～各種調査を活かした学校経営～]

- ・提言題 『Tomakomai-All・9』の取組の推進と校長会の役割について
- ・提言者 大橋 祐之 (苫小牧市立啓明中学校)

[第2分科会 教育課程 ～特色ある教育課程を編成・実施する学校経営～]

- ・提言題 小中連携を基盤にし、洞爺湖町の特色を活かした教育の展開
- ・提言者 高島 康範 (洞爺湖町立洞爺中学校)

[第3分科会 組織・運営 ～組織が機能する学校経営～]

- ・提言題 組織を機能させた英語教育と小中一貫教育の全町的な取組
- ・提言者 井内 宏磨 (厚真町立上厚真小学校)

[第4分科会 組織・運営 ～各種施策を踏まえた学校経営～]

- ・提言題 苫小牧市児童生徒の義務教育9年間の成長を見据えた学校経営
- ・提言者 毛利 毅 (苫小牧市立明德小学校)

[第5分科会 家庭・地域・関係機関との連携 ～家庭・地域と連携した学校経営～]

- ・提言題 白老中学校区の小中一貫コミュニティ・スクールの取組
- ・提言者 横山 秀人 (白老町立白老中学校)

[第6分科会 家庭・地域・関係機関との連携 ～評価を活かした学校経営～]

- ・提言題 学校運営協議会の評価を活かした学校改善の取組
- ・提言者 村田 宏文 (安平町立早来中学校)

##### ○教育講演会

- ・講演題 「未来教育を創造する学校管理職に求められることは何か」
- ・講師 北海道立教育研究所長 北村 善春 氏

### 4. おわりに

新学習指導要領を確実に実施していくためには、これまで以上に質の高い授業、個に応じた学習指導が求められる。さらに、「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、家庭・地域との連携及び協働を図る「チームとしての学校」づくりも大切である。一方で、教師の「働き方改革」も確実に進めていかなければならない。

そのためには、われわれ校長のリーダーシップとマネジメント能力が必要不可欠である。本研究を通して、副題にも掲げている「チーム胆振としての学校改善」に向け、校長としての職能向上を果たしていきたい。

また、ここ数年で胆振管内校長会は大きな交代期を迎える。研究実績とともに、これまで諸先輩が築き上げてきた教育に対する熱い思いも確実に引き継いでいきたい。